

平成 23 年 3 月 1 日

池田亀鑑文学碑を守る会 会員様

池田亀鑑文学碑を守る会
会長 加藤和輝

「日南町生涯学習まちづくりフォーラム」第3分科会で 日南町出身の池田亀鑑の業績を学んでください

拝啓

向春の候、みなさま方におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

昨年3月に開催した「もっと知りたい池田亀鑑と『源氏物語』」講演会には多くのみなさんにご参加いただき誠にありがとうございました。

さて、このたび開催される「日南町生涯学習まちづくりフォーラム」の第3分科会では、昨年ご講演いただいた国立大学法人・総合研究大学院大学 国文学研究資料館の伊藤鉄也教授をお迎えして、池田亀鑑とはいったいどんな人だったのか。源氏物語で結ばれた池田亀鑑の家族愛や源氏物語研究のみならず、戦後の小中学校の国語教科書の監修をつとめるなど多岐にわたる池田亀鑑の業績について初心者にも分かりやすくお話ししていただく予定です。

入場は無料です。是非とも多くの方のご参加をお待ちしています。

敬具

(詳しい日程等については、裏面をご覧ください)



第3分科会講師 伊藤鉄也 氏

国立大学法人・総合研究大学院大学/人間文化研究機構・国文学研究資料館教授、博士(文学)

編著書 『源氏物語別本集成 正・続全 30 巻』(1989年～21巻まで刊行中、おうふう)

池田亀鑑先生略歴

池田亀鑑先生は、明治二十九年十二月九日、祖父宏文、慈母とらの子として神戸上に生まれる。幾多の困苦と欠乏に耐え、よく努力し鳥取師範を経て東京高等師範に学び、東京帝国大学文学部国文科を卒業する。女子学習院、第一高等学校、二松学舎、慶応義塾、早稲田、帝国女子専門学校、東洋等各大学の講師又は助教授。大正大学、東京大学の教授等を歴任し、昭和二十三年には文学博士号を授与される。中古古典文学、特に源氏物語の研究においては斯界の第一人者と称せられ、爾後の指針とされた。著書は源氏物語大成全八巻他数十部を数え、毎日学術奨励金、朝日文化賞等を受賞する。昭和三十一年十二月十九日病を得て東京に没す。行年六十才。その悲報に衝撃を受けた祖父宏文氏も同日逝去される。先生のふるさと神戸上への想いは随筆集「花を折る」等で熱く述べられている。文学碑は、昭和四十三年十二月九日建立除幕された。

池田亀鑑文学碑を守る会

